

るだろう。逆に、審査が公正と慈悲を兼ね備えた判断を取り戻せば、現場には再び信頼と創造性が蘇るはずだ。

国民健康保険制度は、国家の仕組みの中で最も人間に近い制度であり、その根底には「いのちは等しく尊い」という倫理的前提がある。審査委員会はその最前線に立ち、制度と生命をつなぐ「良心の砦」である。その砦が政治や行政の都合で揺らげば、国民医療の信頼基盤が崩れる。

「沈黙的配慮」は声高な主張ではなく、静かな感受性として働く。数値や文言を超え、患者・医師・社会を結ぶ不可視の糸である。委員一人ひとりの胸に宿るこの静かな感受性こそ、制度の魂であり、医療倫理の根幹である。

法を生かすのは力ではなく良心であり、力を鎮めるのは沈黙である。そして沈黙を導くのは、配慮という人間的温かさである。審査委員会という小さな会議室の静けさの中に、医療制度全体の倫理が息づいている。その沈黙が崩れれば制度は音を立てて倒れ、逆に守られれば社会は静かに正義を保つ。

審査独立性の確保は、委員を守るためではない。それは、患者のいのちと医療の誇りを守るための公共的義務である。沈黙的配慮の灯を絶やさず、良心の制度としての審査を次代に継承すること——それこそが、国民健康保険制度のもと、私たち医師会員に課せられた崇高な使命である。そして、その使命を静かに見守り、正しく評価し続ける医師会でありたい。



お知らせ

文書映像データ管理システムについて（ご案内）

さて、沖縄県医師会では、会員へ各種通知、事業案内、講演会映像等の配信を行う「文書映像データ管理システム」事業を平成 23 年 4 月から開始しております。

また、各種通知等につきましては、希望する会員へ郵送等に併せてメール配信を行っております。

なお、「文書映像データ管理システム」（下記 URL 参照）をご利用いただくにはアカウントとパスワードが必要となっており、また、メール配信を希望する場合は、当システムからお申し込みいただくことにしております。

アカウント・パスワードのご照会並びにご不明な点につきましては、沖縄県医師会事務局（TEL098-888-0087 担当：宮良・國吉）までお電話いただくか、氏名、医療機関名を明記の上 omajimusyo@okinawa.med.or.jp までお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

○「文書映像データ管理システム」

URL： <https://www.documents.okinawa.med.or.jp/Dshare/header.do?action=login>

※ 当システムは、沖縄県医師会ホームページからもアクセスいただけます。

